

陽子線治療 オンライン小セミナーの開催報告

2023年9月

京都府立医科大学附属病院 永守記念最先端がん治療研究センター
小セミナー事務局

京都府立医科大学附属病院 永守記念最先端がん治療研究センターでは、2019年4月から陽子線によるがん治療を開始しております。陽子線治療を広く京都府民の皆様にご覧いただくため、保険適用の疾患や治療費等について、2023年8月4日(金)にオンライン小セミナーを開催いたしました。

京都府立医科大学附属病院 永守記念最先端がん治療研究センター

陽子線治療 オンライン小セミナー

「知っておきたいがん治療 陽子線治療とは? ~医師が疑問・質問にお答えします~」

(1) 講演 1 「陽子線治療の概要と適応疾患について」

京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学 渡邊 翔

(2) 講演 2 「当院の陽子線治療の特徴」

京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学 瀬理 祥

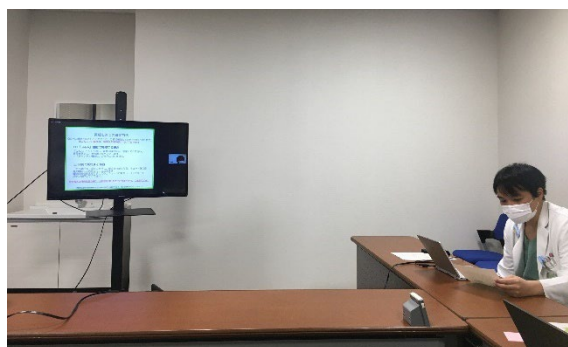
(3) 講演 3 「陽子線治療の治療費について」

京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学 木元 拓也

(4) 陽子線治療 なんでも質問コーナー

京都府立医科大学大学院医学研究科 放射線診断治療学 相部 則博

※講演 1~3 は、23年3月26日に開催したセミナーと同内容になります。



当日は、約 20 名の方々にご聴講いただきました。

講演では、陽子線治療の概要、日本における陽子線治療の適応疾患（保険適用、先進医療）、当院の陽子線治療の特徴（照射方法、治療実績）、陽子線治療の治療費（保険診療 [高額療養費制度、自己負担額]、先進医療）について紹介しました。

陽子線治療 なんでも質問コーナーでは、陽子線治療の適応疾患についてなど、様々な質問があり、先生が回答しました。

【質問コーナーの内容（一部）】

Q1 頭頸部癌についての適応は？

A1 頭頸部癌における陽子線治療の保険適用疾患は、頭頸部悪性黒色腫、嗅神経芽細胞腫、腺様嚢胞癌、上顎洞癌などの非扁平上皮癌と口腔・咽頭を除いた扁平上皮癌になります（つまり、先進医療が適応となる疾患以外の疾患になります）。先進医療の対象疾患は、口腔・咽頭の扁平上皮癌となります。頭頸部癌における陽子線治療の保険診療、先進医療の適応に関する詳細は、永守がんセンターHP 等も参考にして下さい。

Q2 初期治療で放射線治療を受けた小児脳腫瘍経験者が再発や 2 次発がんで陽子線治療を受けることは可能か？

A2 再照射が問題なく実施できると判断されれば、小児期の脳腫瘍治療で放射線治療を受けた場合であっても、脳腫瘍の再発や 2 次発がんに対する陽子線治療は実施可能です（陽子線治療が保険診療下で実施できるか、先進医療での実施になるかは、再照射が必要になった疾患の発症年齢に依存します）。再照射が問題なく実施できるかどうかは、最終的には、実際の患者さんの状態を確認した上で判断することになります。

次回の府民公開講座やセミナーについては、日程が決まり次第、永守がんセンターのホームページや SNS でご案内いたします。